







地震

地震はいつ起こるかわかりません。まずは、地震の特徴を知り、いざという時に備えましょう。

知る 大きな揺れに注意しましょう

緊急地震速報(予報)		緊急地震速報(警報)		緊急地震速報(特別警報)		
震度3	震度4	震度5弱	震度5強	震度6弱	震度6強	震度7
						
大半が揺れに気付く。	大半が揺れに驚く。	物につかまりたいと感じる。	行動に支障が出る。	立っているのが困難。	はわないと動けない。	揺れにほんろうされる。

備える 家の安全を見直しましょう!

地震による負傷は、約3~5割が家具の転倒・落下によるものです。事前に対策をし、屋内の安全を確保しましょう。

家の耐震化



耐震診断を受け、必要に応じて補強。

壁や塀の点検強化



壁や塀にひび割れなどないか。

家具配置の見直し



家具が倒れても安全な配置になっているか。

避難経路の確保



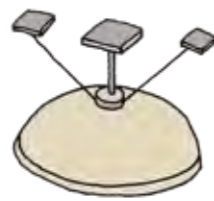
出入口は物で通りにくくなっていないか。

家具の固定



L字金具などで柱に固定。

照明の固定



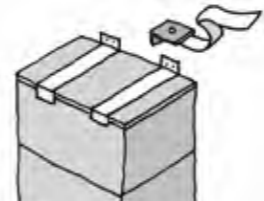
補助ひもで天井に固定。

テレビの固定



粘着マットで固定。

冷蔵庫の固定



転倒防止ベルトで固定。

防災情報 まちの

緊急地震速報は、地震の発生直後に、各地での強い揺れの到達時刻や震度を予想し、可能な限り素早く知らせる情報のことです。情報を見聞きしてから地震の強い揺れが来るまでの時間が数秒から数十秒しかありません。その短い間に身を守るための行動を取りましょう。

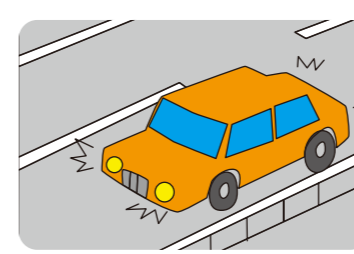
身を守る

地震発生時の流れ

緊急地震速報

~地震発生 緊急地震速報・地震発生時は身の安全の確保を!

- 家では丈夫な机の下など、安全な場所に避難する。
- 運転中はハザードランプを点灯し緩やかに速度を落とす。道路の左側に停止し、エンジンを切る。
- 施設内では係員の指示に従う。あわてて出口に走らない。
- 外にいるときはブロック塀の倒壊、看板やガラスの落下に注意。



地震発生後

地震発生後は、周囲の安全確保を!

- スリッパなどはき、転倒した家具やガラスの破片などに気を付ける。
- 揺れが収まったら火の始末をする。
- 窓や戸を開け、出口を確保する。
- テレビ、ラジオ、市役所などの情報から正しく状況を把握する。



- 自宅の安全を確認後、近所にも声をかけて安否を確認する。
- 危険が迫っていると判断した場合は避難する。
- 避難は徒歩で行い、持ち物は背負える範囲にする。
- 近隣住民で協力して消火活動や救護活動を行う。



防災情報 まちの

地震発生時には電話の回線使用が急増し、119番等の緊急電話使用に支障が出る場合があります。不要不急の電話の使用は控え、安否確認等はできるだけ災害伝言ダイヤル(☎171)を使用しましょう。(表紙裏面に使い方を掲載しています。) また、地震発生直後など情報が不足しているときは、誤った情報が広がりやすくなります。受け取った情報の根拠を確かめ、惑わされないよう注意しましょう。